

Citation: Bosch X, Marrugat J, Sanchis J. Platelet glycoprotein IIb/IIIa blockers during percutaneous coronary intervention and as the initial medical treatment of non-ST segment elevation acute coronary syndromes. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2010, Issue 9. Art. No.: CD002130. DOI: 10.1002/14651858.CD002130.pub2.

CRG名: Cochrane Heart Group

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 5 April 2010

Clib issue No.; N/U: 2010 issue 9, Update

背景: 経皮的冠動脈介入(PCI)中、および非ST上昇型急性冠症候群(NSTEACS)では、血栓症による急性血管閉塞のリスクが高い。血小板糖蛋白(GP)IIb/IIIa阻害薬は血小板凝集を強力に抑制し、死亡や心筋梗塞(MI)を予防する可能性がある。本レビューは、2001年に最初に発表され、2007年に更新されたコクラン・レビューの最新版である。

目的: NSTEACS患者において、PCI中に投与された場合や初期内科的治療として投与された場合のGP IIb/IIIa阻害薬の有効性と安全性を評価する。

検索戦略: コクラン・ライブラリ(2009年第3号)のCochrane Central Register of Controlled Trials(CENTRAL)、MEDLINE(1966年から2009年10月まで)、EMBASE(1980年から2009年10月まで)を検索した。

選択基準: GP IIb/IIIa阻害薬の静脈内投与とプラセボまたは通常ケアとを比較しているランダム化比較試験。

データ収集と分析: 2名のレビューアが独自に研究を組み入れのために選択し、試験の質を評価し、データを抽出した。試験から、有害作用情報として大出血を収集した。オッズ比(OR)と95%信頼区間(CI)を効果指標に用いた。

主な結果: 62,417例の患者を対象に含む48件の試験を選択した。PCI中、GP IIb/IIIa阻害薬は30日後(OR 0.76、95%CI 0.62~0.95)および6カ月後(OR 0.84、95%CI 0.71~1.00)の死亡率を低下させた。死亡またはMIの発生は30日後(OR 0.65、95%CI 0.60~0.72)と6カ月後(OR 0.70、95%CI 0.61~0.81)のいずれの時点でも減少したが、重篤な出血が増加した(OR 1.38、95%CI 1.20~1.59; 絶対リスク増加(ARI)1000例あたり8.0件)。患者の臨床状態別にすると、有効性結果はすべてのエンドポイントに対して均質であったが、クロピドグレル前投与患者、特にACSのない患者において有効性はそれほど顕著でなかった。

NSTEACSの初期内科的治療として、GP IIb/IIIa阻害薬は30日後(OR 0.91、95%CI 0.80~1.03)や6カ月後(OR 1.00、95%CI 0.87~1.15)の死亡率を低下させなかったが、30日後(OR 0.92、95%CI 0.86~0.99)および6カ月後(OR 0.88、95%CI 0.81~0.96)の死亡またはMIの発生をわずかに減少させた。しかし、重篤な出血が増加した(OR 1.27、95%CI 1.12~1.43; ARI 1000例あたり1.4件)。

レビューアの結論: PCI中に用いる場合、GP IIb/IIIa阻害薬の静脈内投与は、重篤な出血リスクを高めるという代償があるが、30日後および6カ月後の死亡リスクおよび死亡またはMI発生リスクを低下させる。有効性効果は均質であるが、クロピドグレルが前投与された患者ではそれほど顕著でなく、クロピドグレル前投与下でGP IIb/IIIa阻害薬が有効なのはACS患者においてのみであるようである。NSTEACS患者に初期内科的治療として投与される場合、これらの薬剤は死亡率を低下させないが、死亡またはMIの発生リスクをわずかに低下させる。

(監訳 澤村匡史)

翻訳公開日: 2011年3月25日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日

本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイムラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。